

## 第3回 軽金属女性未来賞受賞者表彰

軽金属女性未来賞は、軽金属分野において学術研究または技術開発に顕著な功績をあげ、将来の活躍が期待される新進気鋭の女性研究者または女性技術者に贈られるもので、平成21年度に創設された。軽金属女性未来賞選考委員会（委員長 伊藤吾朗）の審査を経て、9月29日（木）に開催された一般社団法人軽金属学会第3回理事会において慎重審議の結果、下記のとおり1名の授賞を決定、軽金属学会第121回秋期大会第1日目の11月12日（土）に早稲田大学において表彰式を挙行了した。

### 受賞者



渡辺 睦子 君  
(古河スカイ株式会社)

### 表彰理由

渡辺睦子君は、入社から現在に至るまで一貫して研究職に従事し、古河スカイ(株)初のプロパー社員の女性管理職として登用された。入社後すぐに電解コンデンサ用アルミニウム箔地の特性改善の研究に取り組み、その再結晶挙動の解明において大きな成果を上げた。その後は、主に表面技術に関わる研究に携わり、プレコート材の塗膜中のインナーワックスの挙動の解明について大きな貢献をした。また缶材の塗装技術においても、近年の環境問題対応から缶蓋の塗料が溶剤タイプから水性タイプへ大きく転換することになったが、水性塗料特有の不具合現象を塗料物性、硬化挙動の面から解明し、塗装条件を最適化することにより、その量産化に大きな貢献を果たした。また、これ以外の分析業務を通して缶材、箔地全般にわたる技術改善に大きく寄与してきた。現在でも塗装技術に関して、塗膜の分析技術の向上や計算機シミュレーションを取入れて、更に高いレベルの研究に取り組んでいる。

一方、軽金属学会では、その発足以来「女性会員の会」の会員として在籍し、LM コラムへの投稿など積極的に活動している。

以上のように、同君は軽金属分野においての研究開発に顕著な功績をあげ、同分野で今後増え続けるであろう女性技術者の先駆的人材として、活躍が大いに期待される。